

みずほCustomer Desk Report 2016/04/26号(As of 2016/04/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.33 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.46	1.1232	125.20	0.9784	1.4445	0.7710
SYD-NY High	111.90	1.1278	125.52	0.9786	1.4520	0.7730
SYD-NY Low	110.84	1.1216	124.84	0.9739	1.4403	0.7690
NY 5:00 PM	111.17	1.1270	125.26	0.9751	1.4485	0.7713
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.73/12.135		Δ25RR	0.733	Yen Call Over	
NY DOW	17,977.24	▲ 26.51	債券市場			
NASDAQ	4,895.79	▲ 10.44	日本2年債	-0.2560	2.5bp	
S&P	2,087.79	▲ 3.79	日本10年債	-0.0600	5.0bp	
日経平均	17,439.30	▲ 133.19	米国2年債	0.8299	1.2bp	
TOPIX	1,401.83	▲ 5.67	米国5年債	1.3766	2.2bp	
シカゴ日経先物	17,500	▲ 300.00	米国10年債	1.9128	2.5bp	
ロンドンFT	6,260.92	▲ 49.52	独10年債	0.2640	3.3bp	
DAX	10,294.35	▲ 79.14	英10年債	1.6080	0.8bp	
ハンセン指数	21,304.44	▲ 162.60	豪10年債	2.6320	-	
上海総合	2,946.67	▲ 12.57	為替市況			
USDJPY 3M Vol	11.18	▲ 0.12%	USD/CNH	6.5062	0.0019	
USDJPY 6M Vol	10.82	▲ 0.05%	ドルインデックス	94.84	▲ 0.27	
EURJPY 3M Vol	11.54	▲ 0.48%	商品市況	CRB指数	178.869	▲ 0.78
EURJPY 6M Vol	11.05	▲ 0.32%	NY金	1,240.200	10.20	
			WTI	42.640	▲ 1.09	
			Dubai Spot	40.57	▲ 0.57	

【昨日の指標等】

Date	Time	独	IFO業況/現況/期待指数	4月	結果	予想
4月25日	17:00	独	IFO業況/現況/期待指数	4月	106.6/113.2/100.4	107.1/113.8/100.9
	23:00	米	新築住宅販売件数	3月	511K	520K
	23:30	米	ダラス連銀製造業指数	4月	-13.9	-10.0

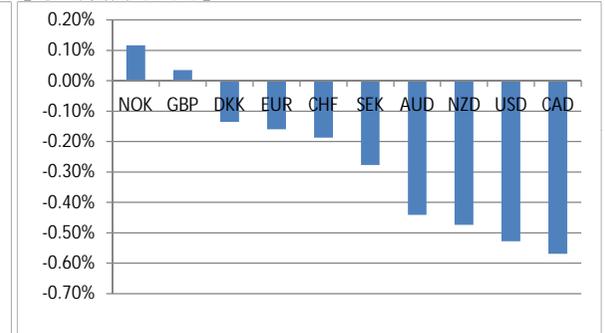
【本日の予定】

Date	Time	米	耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	3月	予想	前回
4月26日	21:30	米	耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	3月	1.9%/0.5%	-3.0%/-1.3%
	22:00	米	S&P/ケースシラー住宅価格指数(前年比)	2月	5.50%	5.75%
	22:45	米	マークイットサービスマ/総合PMI	4月	52.0/-	51.3/51.3
	23:00	米	消費者信頼感指数	4月	95.8	96.2
	23:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	4月	12	22

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	ドル円は先週金曜日の流れを引き継ぎ朝方に一時111.90まで上昇したが、その後はポジション調整等からじり安推移となり111.46レベルで東京時間オープン。日経平均株価が前日比プラスで寄り付くも次第に上げ幅を縮小しマイナス圏に沈んだことや、111円台では本邦勢の売り意欲が旺盛との思惑等から一時111.04まで下落。日経平均株価が下げ止まるとドル円も小幅に反発したが、その後は特段目新しい材料の中で111円台前半でもみ合い推移が続き、結局111.11レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は終始111円台前半で方向感に欠ける展開となった。朝方は111.11レベルでオープン。ロンドン昼前に、本田内閣官房参与が経済がよほど悪化しない限りは金融緩和の拡大が6月になる可能性があるとの意見を示し、また「ごく最近のマーケット状況を見る限り、(マインズ金利の影響を)もう少し見極めるほうが良いという判断もあり得る気がする」と述べたことがWSJより報道されたが、ドル円への影響は限定的となり、111.10レベルでNYへ渡った。ユーロドルは底堅く推移。朝方は1.1238レベルでオープン。米金利の低下を追随したドルの軟調地合を背景に1.12台前半から半ばへ上昇し、1.1258レベルでNYへ渡った。独4月IFO業況指数は106.6と市場予想(107.1)より弱い結果となったが、影響は限定的となった。(ロンドンホールリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は111.10レベルでオープン。朝方のドル円はポジション調整が続き、一時110.84下落した場面も見られたものの、売りは一時的にことどまり、直ぐに111円台に戻した。しかし、ガウや原油が伸び悩みを見せる中、米新築住宅販売やダラス連銀製造業も予想を下回ったことを嫌気し、ドル円は再び110.89に軟化した。午後に入り、ガウが下げ幅を縮小する動きとなったこともあり、ドル円に買いが入り111円台前半を堅持し買い戻しの流れは続き、一時111.33まで上昇した。終盤、FOMCや日銀などの政策決定会合を控え、積極的な取引は見られず111.17レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1258レベルでNYオープン。本日はドル買い一服の流れのなかで、低調な米経済指標や今週のFOMCで追加利上げが見送られるとの見方を背景にドル売りが優勢となり、ユーロドルは一時1.1278まで上昇した。ただし、1.1275辺りでは戻り売り圧力も根強くあり、1.1259まで下げた後、1.1270レベルで海外市場へ渡った。(NY00531 113 680井上)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.80-112.80	1.1200-1.1300	122.50-126.20

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円相場は東京時間には先週末の急伸円安の流れからの反動的な買いの流れが見られ、円高方向を試す展開となり、海外時間も111円前半での推移となった。発表された米3月新築住宅販売件数は市場予想よりやや下振れし、4月の米ダラス連銀製造業活動指数も前月より悪化したものの、指標結果への反応は限定的となり、111円台前半でもみ合いとなった。ユーロドルは発表された独4月IFO企業景況感指数の低下にも1.12ドル台後半で底堅く推移。ポンドドルはEU残留支援の拡大を好感で2月中旬以来の1.45ドル台を示現。今週控える日米金融政策イベントや、28日の米1-3月期GDPなど注目指標を控えるが、本日は引き続き日銀による追加緩和への思惑がドル円の下落を支え111円を挟んだ動きが想定されます。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。